# 豊島区内創業者へのアンケート

東京商工会議所 豊島支部

- P. 2 調査概要
- P. 3 回答者属性
- P. 4 問1-1:設立年「SA]
- P. 5 問1-2:創業時の経営者の年齢 [SA]
- P. 6 問1-3:業種 [SA]
- P. 7 問1-3-1:サービス業の分類 [SA]
- P. 8 問1-4:資本金 [SA]
- P. 9 問1-5:従業員数(役員・アルバイト除く) [SA]
- P. 10 問1-6:事業の拠点 [SA]
- P. 11 問1-7:所在地 [SA]
- P. 12 問1-8:年間売上 [SA]
- P. 13 問1-9:収益状況(経常利益) [SA]
- P. 14 問2-1: 豊島区で創業した理由(創業当時) [MA]
- P. 15 問2-2: 創業者が経営を軌道に乗せるために必要な支援 [MA]
- P. 16 問3-1:新型コロナウイルスによる経営への影響 [SA]
- P. 17 問3-2:具体的な影響 [MA]
- P. 18 問3-3:講じている対策 [MA]
- P. 19 問3-4: 今後も豊島区で事業を継続するために必要な支援 [MA]
- P. 20 問4\_AC:創業時や事業の推進に当たり障害となったこと(規制・法律・制度・業界慣習など) [MA]

## 調査概要

#### 調査目的

豊島区内で創業5年以下の法人・個人事業主を対象とし、豊島区を選んだ理由・希望する支援を聞くとともに、創業者の現在の課題を把握する

#### 調査方法

郵送による調査票送付 郵送・WEBによる回答

#### 調査期間

2020年11月1日~11月20日

## 調査対象者

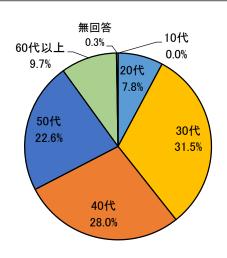
豊島区で2016~2020年に創業された個人・法人4,500社

# 回答者属性

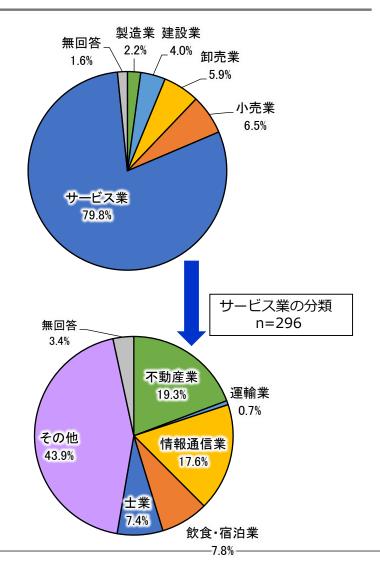
## 設立年 n=371



## 創業時の経営者の年齢 n=371

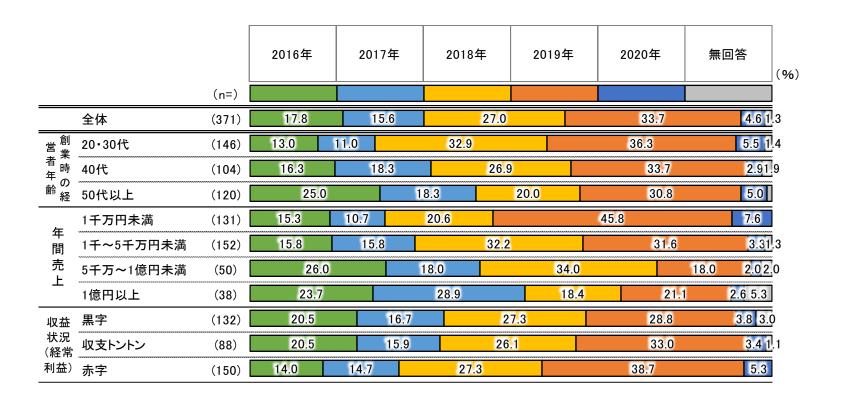


## 業種 n=371



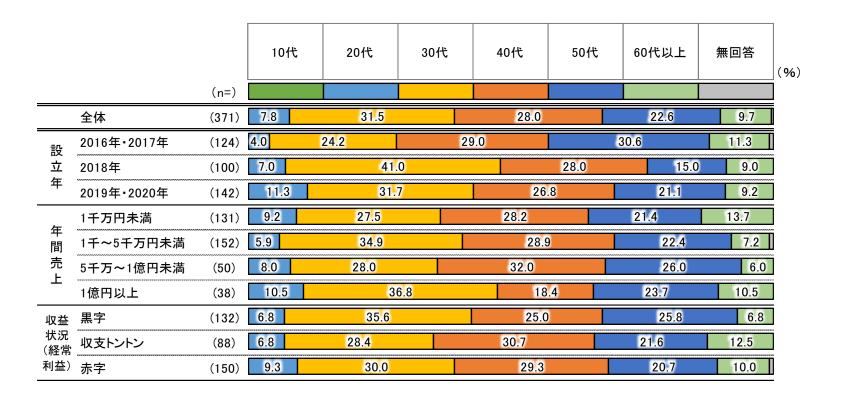
# 問1-1:設立年 [SA]

- ●全体では、「2019年」が最も高く33.7%、次いで「2018年」が27.0%、「2016年」が17.8%となった。
- ●創業時の経営者年齢で「2019年」を見ると、『20·30代』が最も高く36.3%、次いで『40代』が33.7%、『50代以上』が30.8%となった。
- ●年間売上で「2019年」を見ると、『1千万円未満』が最も高く45.8%、次いで『1千~5千万円未満』が31.6%、『1億円以上』が21.1%となった。
- ●収益状況(経常利益)で「2019年」を見ると、『赤字』が最も高く38.7%、次いで『収支トントン』が33.0%、『黒字』が28.8%となった。



# 問1-2:創業時の経営者の年齢 [SA]

- ●全体では、「30代」が最も高く31.5%、次いで「40代」が28.0%、「50代」が22.6%となった。
- ●設立年で「30代」を見ると、『2018年』が最も高く41.0%、次いで『2019年・2020年』が31.7%、『2016年・2017年』が24.2%となった。
- ●年間売上で「30代」を見ると、『1億円以上』が最も高く36.8%、次いで『1千~5千万円未満』が34.9%、『5千万~1億円未満』が28.0%となった。
- ●収益状況(経常利益)で「30代」を見ると、『黒字』が最も高く35.6%、次いで『赤字』が30.0%、『収支トントン』が28.4%となった。



# 問1-3:業種 [SA]

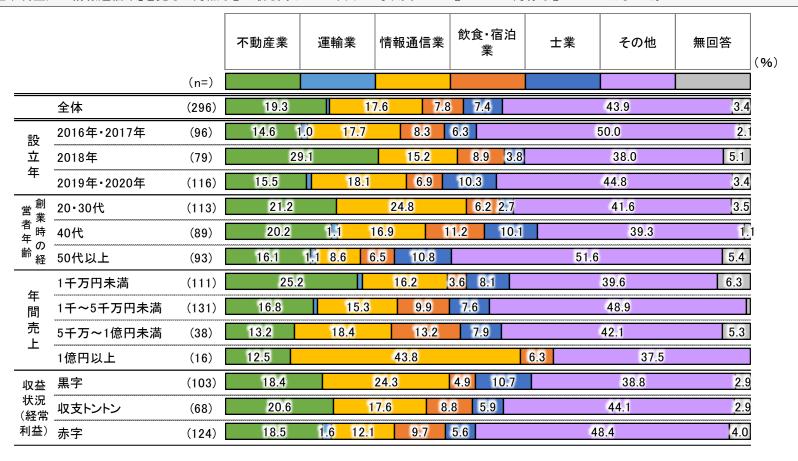
- ●全体では、「サービス業」が最も高く79.8%、次いで「小売業」が6.5%、「卸売業」が5.9%となった。
- ●創業時の経営者年齢で「サービス業」を見ると、『40代』が最も高く85.6%、次いで『50代以上』が77.5%、『20·30代』が77.4%となった。
- ●年間売上の『1億円以上』では、「サービス業」が最も高く42.1%、次いで「小売業」が23.7%、「製造業」が10.5%、「建設業」が10.5%、「卸売業」が10.5%となった。
- ●収益状況(経常利益)の『黒字』では、「サービス業」が最も高く78.0%、次いで「卸売業」が6.8%、「小売業」が6.1%となった。

			製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	無回答	(%)
		(n=)							
	全体	(371)	2.24.0 5.9 6.5		79.8			1.6	
——— 設 立 年	2016年・2017年	(124)	4.0 2.4 5.6 8.	.9		77.4		1.6	
	2018年	(100)	1.05.0 4.0 9.0			79.0		2.0	
	2019年・2020年	(142)	1.44.9 7.7 2.8			81.7		1.4	
営者年齢	20・30代	(146)	6.2 6.2	9.6		77.4			
	40代	(104)	1.9 <sup>1.9</sup> 6.7 2.9			85.6			
	50代以上	(120)	4.2 3.3 5.0 5.8	B		77.5		4.2	
年間売上	1千万円未満	(131)	2.32.3 6.9 1.5			84.7		2.3	
	1千~5千万円未満	(152)	3.3 3.3 5.3		86.2			1.3	
	5千万~1億円未満	(50)	6.0 8.0	10.0		76.0			
	1億円以上	(38)	10.5 10.	5 10.5	23.7		42.1	2.6	
収益 状況 (経常 利益)	黒字	(132)	3.0 4.5 6.8 6	5.1		78.0		1.5	
	収支トントン	(88)	5.7 6.8 8.	.0		77.3		2.3	
	赤字	(150)	2.72.74.7 6.0			82.7		1.3	

# 問1-3-1:サービス業の分類 [SA]

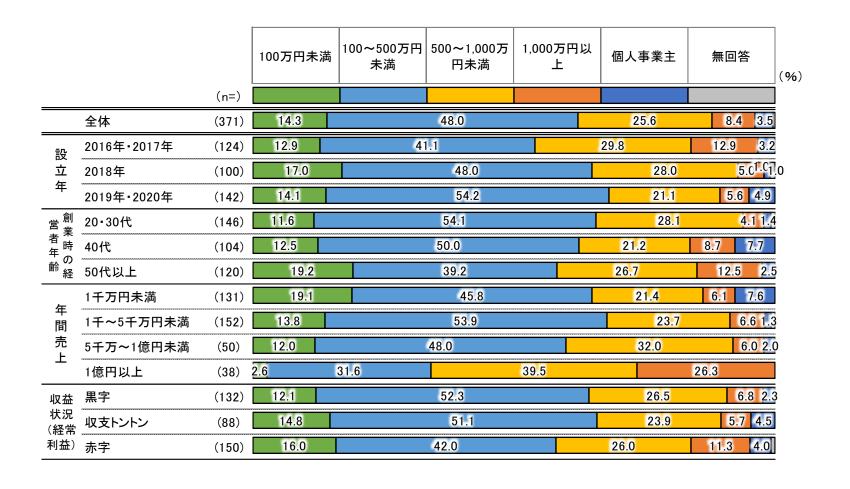
## 問1-3で「5. サービス業」と回答の方

- ●全体では、「不動産業」が最も高く19.3%、次いで「情報通信業」が17.6%、「飲食・宿泊業」が7.8%となった。
- ●創業時の経営者年齢で「情報通信業」を見ると、『20·30代』が最も高く24.8%、次いで『40代』が16.9%、『50代以上』が8.6%となった。
- ●年間売上で「不動産業」を見ると、『1千万円未満』が最も高く25.2%、次いで『1千~5千万円未満』が16.8%、『5千万~1億円未満』が13.2%となった。
- ●収益状況(経常利益)で「情報通信業」を見ると、『黒字』が最も高く24.3%、次いで『収支トントン』が17.6%、『赤字』が12.1%となった。



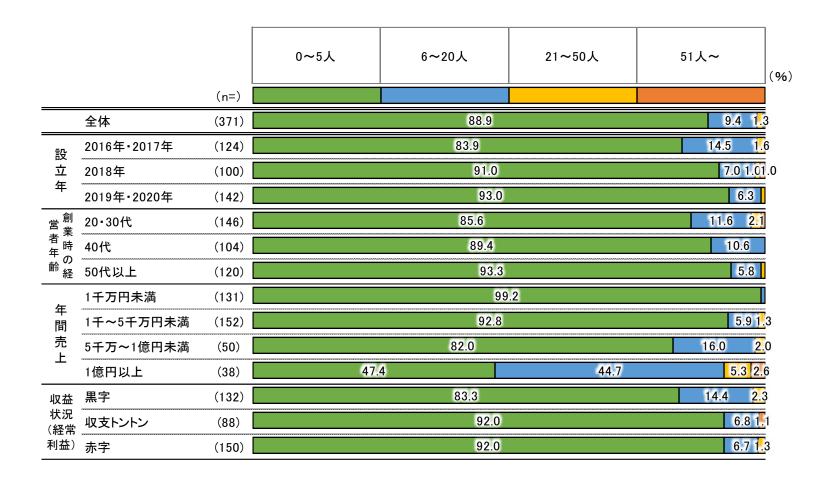
# 問1-4:資本金 [SA]

- ●全体では、「100~500万円未満」が最も高く48.0%、次いで「500~1,000万円未満」が25.6%、「100万円未満」が14.3%となった。
- ●設立年で「100~500万円未満」を見ると、『2019年・2020年』が最も高く54.2%、次いで『2018年』が48.0%、『2016年・2017年』が41.1%となった。
- ●年間売上で「100~500万円未満」を見ると、『1千~5千万円未満』が最も高く53.9%、次いで『5千万~1億円未満』が48.0%、『1千万円未満』が45.8%となった。
- ●収益状況(経常利益)で「100~500万円未満」を見ると、『黒字』が最も高く52.3%、次いで『収支トントン』が51.1%、『赤字』が42.0%となった。



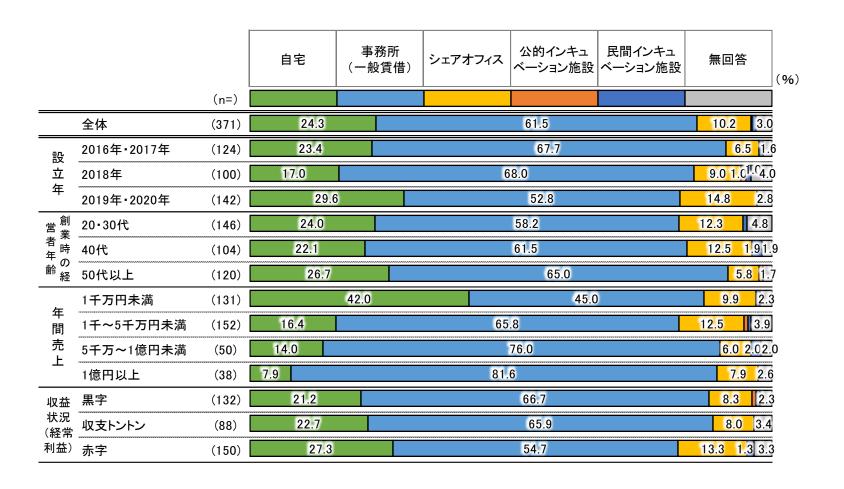
# 問1-5:従業員数(役員・アルバイト除く) [SA]

- ●全体では、「0~5人」が最も高く88.9%、次いで「6~20人」が9.4%、「21~50人」が1.3%となった。
- ●年間売上で「6~20人」を見ると、『1億円以上』が最も高く44.7%、次いで『5千万~1億円未満』が16.0%、『1千~5千万円未満』が5.9%となった。
- ●年間売上で「21~50人」を見ると、『1億円以上』が最も高く5.3%、次いで『5千万~1億円未満』が2.0%、『1千~5千万円未満』が1.3%となった。
- ●収益状況(経常利益)で「0~5人」を見ると、『収支トントン』『赤字』が最も高く92.0%、次いで『黒字』が83.3%となった。



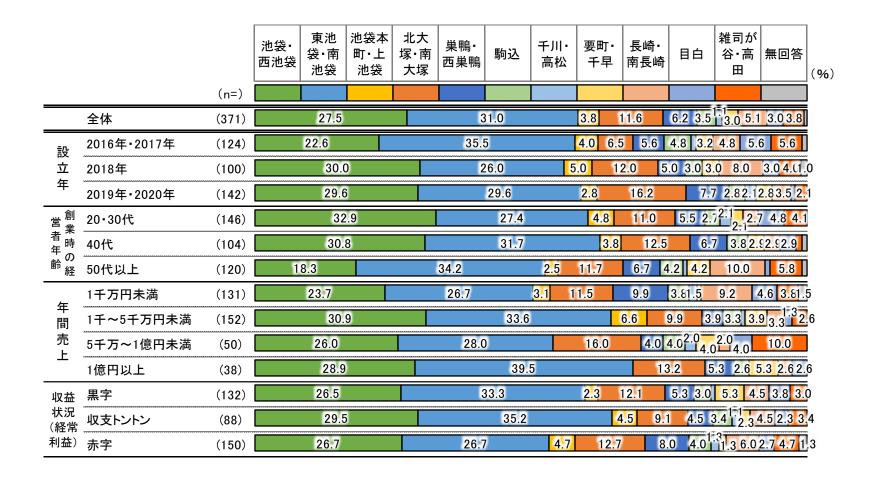
# 問1-6:事業の拠点 [SA]

- ●全体では、「事務所(一般賃借)」が最も高く61.5%、次いで「自宅」が24.3%、「シェアオフィス」が10.2%となった。
- ●設立年で「自宅」を見ると、『2019年・2020年』が最も高く29.6%、次いで『2016年・2017年』が23.4%、『2018年』が17.0%となった。
- ●年間売上で「自宅」を見ると、『1千万円未満』が最も高く42.0%、次いで『1千~5千万円未満』が16.4%、『5千万~1億円未満』が14.0%となった。
- ●年間売上で「事務所(一般賃借)」を見ると、『1億円以上』が最も高く81.6%、次いで『5千万~1億円未満』が76.0%、『1千~5千万円未満』が65.8%となった。



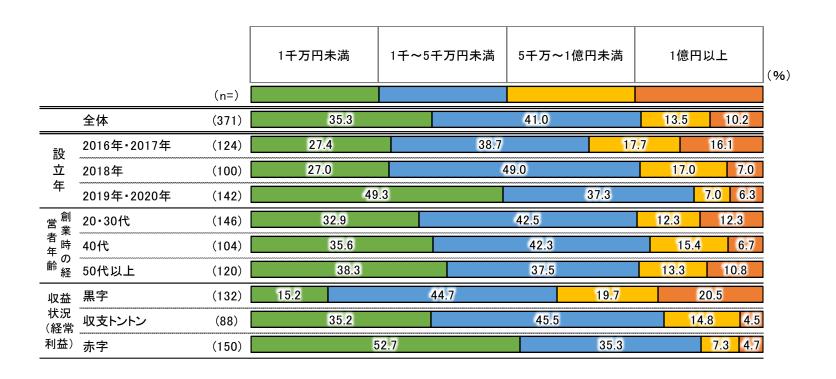
# 問1-7:所在地 [SA]

- ●全体では、「東池袋・南池袋」が最も高く31.0%、次いで「池袋・西池袋」が27.5%、「北大塚・南大塚」が11.6%となった。
- ●創業時の経営者年齢で「東池袋・南池袋」を見ると、『50代以上』が最も高く34.2%、次いで『40代』が31.7%、『20·30代』が27.4%となった。
- ●年間売上で「池袋・西池袋」を見ると、『1千~5千万円未満』が最も高く30.9%、次いで『1億円以上』が28.9%、『5千万~1億円未満』が26.0%となった。
- ●収益状況(経常利益)で「池袋・西池袋」を見ると、『収支トントン』が最も高く29.5%、次いで『赤字』が26.7%、『黒字』が26.5%となった。



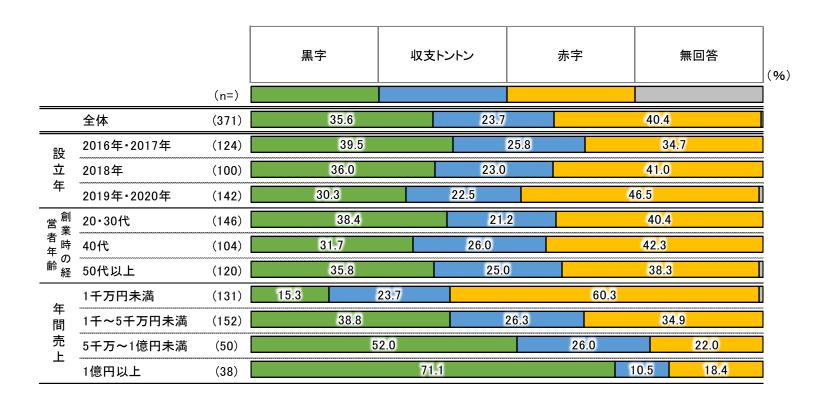
# 問1-8:年間売上 [SA]

- ●全体では、「1千~5千万円未満」が最も高く41.0%、次いで「1千万円未満」が35.3%、「5千万~1億円未満」が13.5%となった。
- ●設立年で「1千~5千万円未満」を見ると、『2018年』が最も高く49.0%、次いで『2016年・2017年』が38.7%、『2019年・2020年』が37.3%となった。
- ●収益状況(経常利益)で「1千~5千万円未満」を見ると、『収支トントン』が最も高く45.5%、次いで『黒字』が44.7%、『赤字』が35.3%となった。
- ●収益状況(経常利益)で「1千万円未満」を見ると、『赤字』が最も高く52.7%、次いで『収支トントン』が35.2%、『黒字』が15.2%となった。



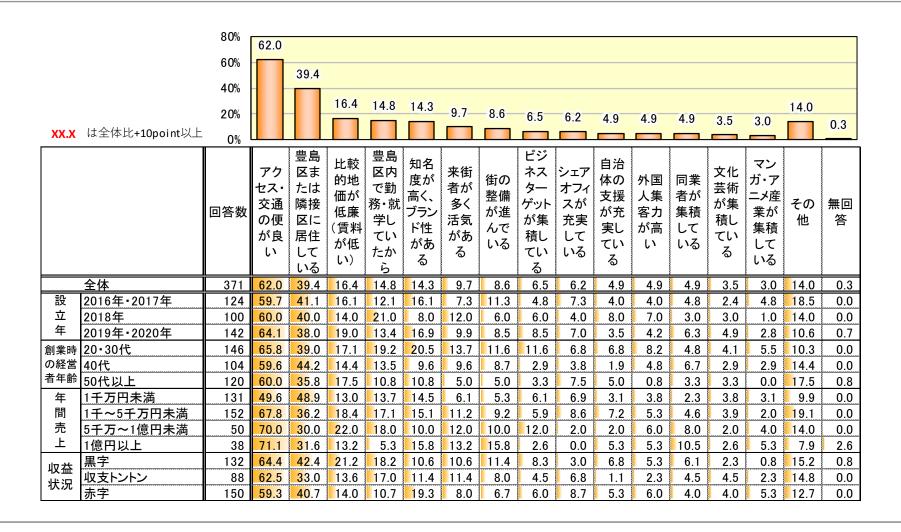
# 問1-9:収益状況(経常利益) [SA]

- ●全体では、「赤字」が最も高く40.4%、次いで「黒字」が35.6%、「収支トントン」が23.7%となった。
- ●設立年で「黒字」を見ると、『2016年・2017年』が最も高く39.5%、次いで『2018年』が36.0%、『2019年・2020年』が30.3%となった。
- ●創業時の経営者年齢で「黒字」を見ると、『20・30代』が最も高く38.4%、次いで『50代以上』が35.8%、『40代』が31.7%となった。
- ●年間売上で「黒字」を見ると、『1億円以上』が最も高く71.1%、次いで『5千万~1億円未満』が52.0%、『1千~5千万円未満』が38.8%となった。



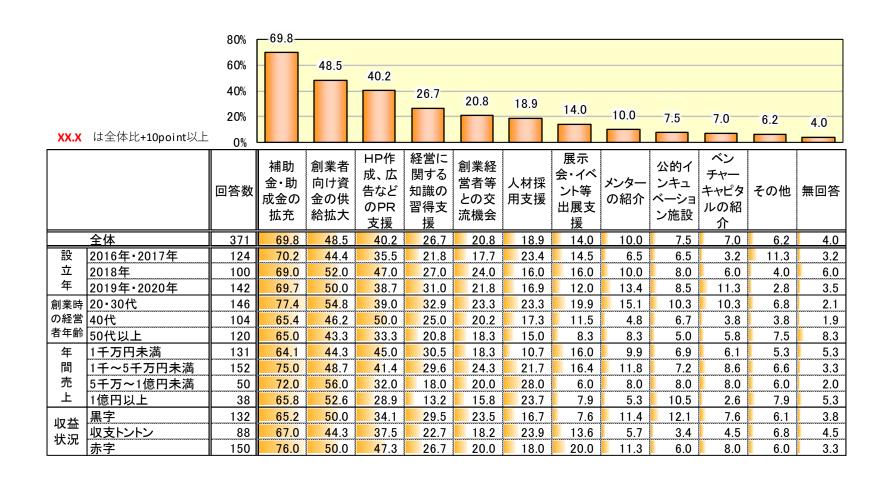
# 問2-1:豊島区で創業した理由(創業当時) [MA]

- ●全体では、「アクセス・交通の便が良い」が最も高く62.0%、次いで「豊島区または隣接区に居住している」が39.4%、「比較的地価が低廉(賃料が低い)」が16.4%となった。
- ●年間売上で「アクセス・交通の便が良い」を見ると、『1億円以上』が最も高く71.1%、次いで『5千万~1億円未満』が70.0%、『1千~5千万円未満』が67.8%となった。
- ●収益状況(経常利益)で「豊島区または隣接区に居住している」を見ると、『黒字』が最も高く42.4%、次いで『赤字』が40.7%、『収支トントン』が33.0%となった。



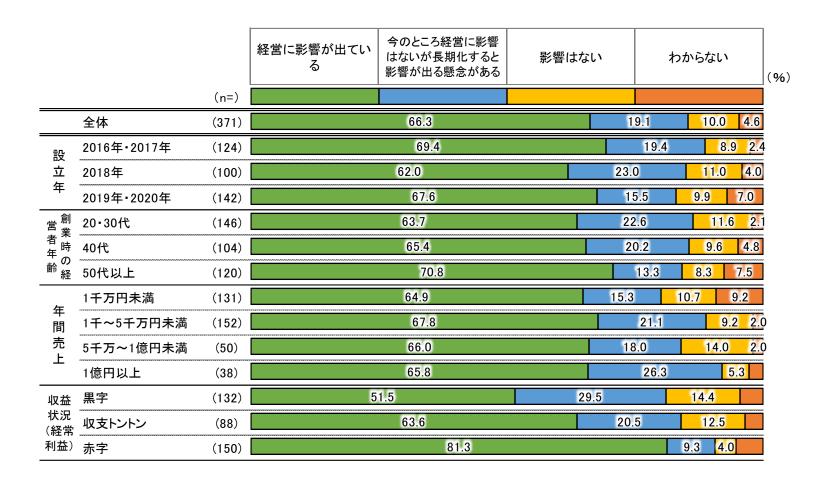
# 問2-2:創業者が経営を軌道に乗せるために必要な支援 [MA]

- ●全体では、「補助金・助成金の拡充」が最も高く69.8%、次いで「創業者向け資金の供給拡大」が48.5%、「HP作成、広告などのPR支援」が40.2%となった。
- ●年間売上で「創業者向け資金の供給拡大」を見ると、『5千万~1億円未満』が最も高く56.0%、次いで『1億円以上』が52.6%、『1千~5千万円未満』が48.7%となった。
- ●収益状況(経常利益)で「HP作成、広告などのPR支援」を見ると、『赤字』が最も高く47.3%、次いで『収支トントン』が37.5%、『黒字』が34.1%となった。



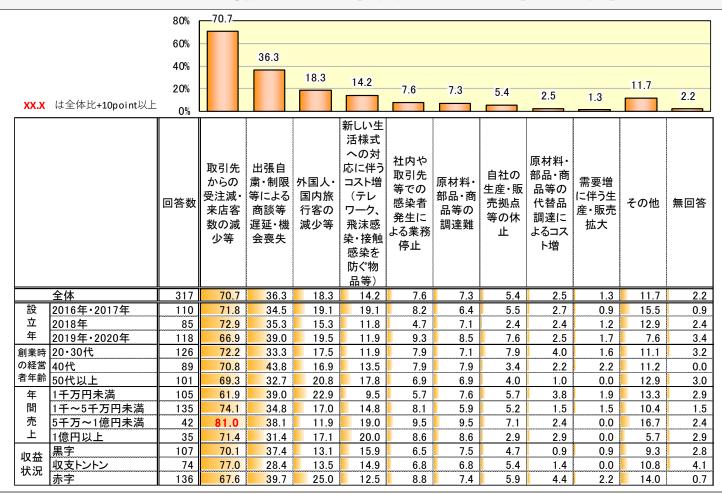
# 問3-1:新型コロナウイルスによる経営への影響 [SA]

- ●全体では、「経営に影響が出ている」が最も高く66.3%、次いで「今のところ経営に影響はないが長期化すると影響が出る懸念がある」が19.1%、「影響はない」が10.0%。
- ●年間売上で「経営に影響が出ている」を見ると、『1千~5千万円未満』が最も高く67.8%、次いで『5千万~1億円未満』が66.0%、『1億円以上』が65.8%となった。
- ●収益状況(経常利益)で「経営に影響が出ている」を見ると、『赤字』が最も高く81.3%、次いで『収支トントン』が63.6%、『黒字』が51.5%となった。



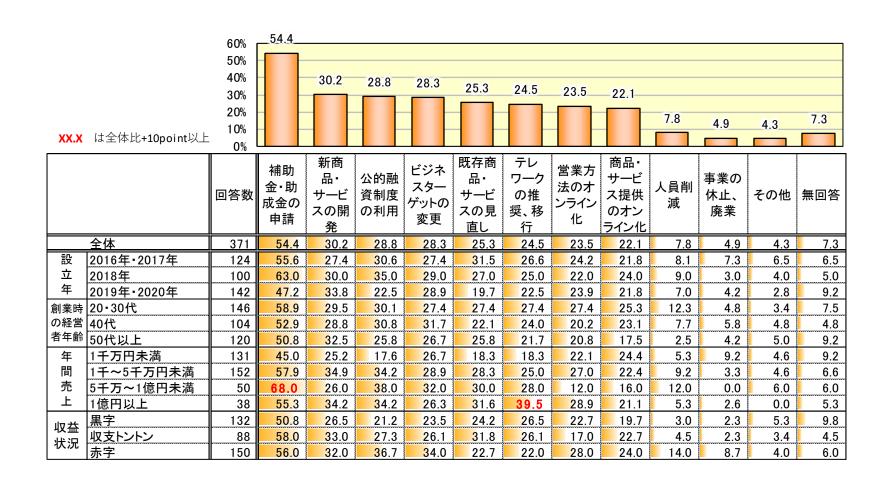
## 問3-1で「1.経営に影響が出ている」、「2.今のところ経営に影響はないが長期化すると影響が出る懸念がある」と回答の方

- ●全体では、「取引先からの受注減・来店客数の減少等」が最も高く70.7%、次いで「出張自粛・制限等による商談等遅延・機会喪失」が36.3%、「外国人・国内旅行客の減少等」が18.3%となった
- ●創業時の経営者年齢で「取引先からの受注減・来店客数の減少等」を見ると、『20·30代』が最も高く72.2%、次いで『40代』が70.8%、『50代以上』が69.3%となった。
- ●年間売上で「取引先からの受注減・来店客数の減少等」を見ると、『5千万~1億円未満』が最も高く81.0%、次いで『1千~5千万円未満』が74.1%、『1億円以上』が71.4%となった。
- ●収益状況(経常利益)で「取引先からの受注減・来店客数の減少等」を見ると、『収支トントン』が最も高く77.0%、次いで『黒字』が70.1%、『赤字』が67.6%となった。



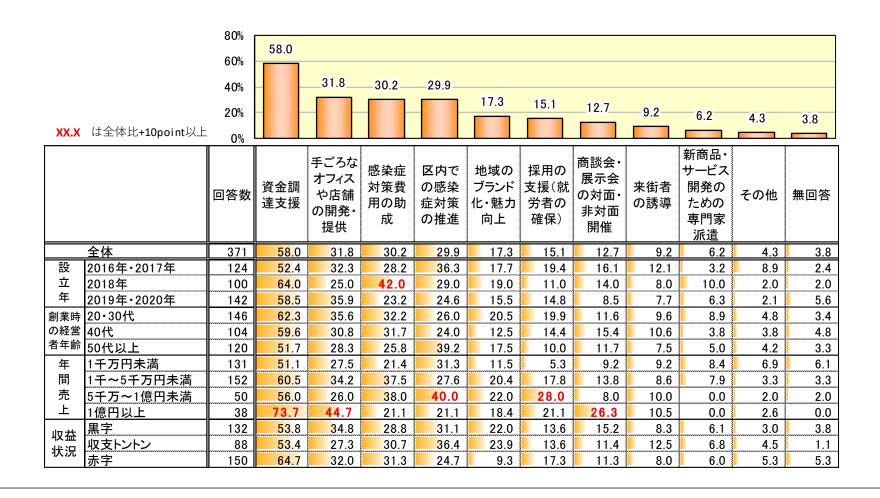
# 問3-3:講じている対策 [MA]

- ●全体では、「補助金・助成金の申請」が最も高く54.4%、次いで「新商品・サービスの開発」が30.2%、「公的融資制度の利用」が28.8%となった。
- ●創業時の経営者年齢で「新商品・サービスの開発」を見ると、『50代以上』が最も高く32.5%、次いで『20·30代』が29.5%、『40代』が28.8%となった。
- ●年間売上で「公的融資制度の利用」を見ると、『5千万~1億円未満』が最も高く38.0%、次いで『1千~5千万円未満』『1億円以上』が34.2%、『1千万円未満』が17.6%となった。
- ●収益状況(経常利益)で「補助金・助成金の申請」を見ると、『収支トントン』が最も高く58.0%、次いで『赤字』が56.0%、『黒字』が50.8%となった。



# 問3-4:今後も豊島区で事業を継続するために必要な支援 [MA]

- ●全体では、「資金調達支援」が最も高く58.0%、次いで「手ごろなオフィスや店舗の開発・提供」が31.8%、「感染症対策費用の助成」が30.2%となった。
- ●年間売上の『1億円以上』では、「資金調達支援」が最も高く73.7%、次いで「手ごろなオフィスや店舗の開発・提供」が44.7%、「商談会・展示会の対面・非対面開催」が26.3%
- ●収益状況(経常利益)の『黒字』では、「資金調達支援」が最も高く53.8%、次いで「手ごろなオフィスや店舗の開発・提供」が34.8%、「区内での感染症対策の推進」が31.1%



# 問4\_AC: 創業時や事業の推進に当たり障害となったこと(規制・法律・制度・業界慣習など) [MA]

- ●全体では、「口座開設が難しい/時間がかかった」が最も高く20.3%、次いで「税金が高い/複雑」「資金調達」が14.1%、「融資が受けられなかった」「コロナの影響で業績不振」「勉強・知識・技能不足」が同率で10.9%となった。
- ●設立年の『2019年・2020年』では、「口座開設が難しい/時間がかかった」が最も高く25.9%、次いで「税金が高い/複雑」が18.5%、「資金調達」「コロナの影響で業績不振」 「勉強・知識・技能不足」が同率で11.1%となった。

